

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 生物流体と生命現象のクロストークダイナミクスの創成
2. 研究代表者： 菊地 謙次（東北大学 大学院工学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、新規生体内物質輸送計測法を活用し、生体内外の流れと健康や疾病などの生理現象との相互干渉（クロストーク）について、統合的かつ横幹的理解に不可欠なプラットフォームの創発を目指している。フェーズ1では、腸内における細菌の運動から複数の重要な知見が得られており、失敗の過程における手法の変更を研究の進展に繋げるなど、全般的に当初計画を上回る成果が得られていることは評価できる。フェーズ2では、医療穿刺デバイスへの応用や医療エアロゾルの可視化など、より応用的な方向を指向した研究をおこなう計画となっており、その成果に期待する。

以上